

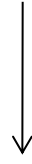
平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	麻しん排除対策推進費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度		担当課室	結核感染症課		結核感染症課 正林 督章		
会計区分	一般会計		施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「麻しんに関する特定感染症予防指針」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成24年度までに日本国内からの麻しん排除(麻しん患者の発生を年間、100万人当たり1人未満に抑制すること)を達成することを目的としている。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	麻しん発症地域における麻しんの発生経路等の調査・分析を行うとともに、その結果を広く周知することにより麻しん排除を達成する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	3	3	3	3	3	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	3	3	3	3	3	
		執行額	6	4	3			
	執行率(%)	200%	133.3%	95%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	予防接種の接種率(麻しん)		成果実績		86.9%	88.20%	集計中	おおむね95%
			達成度	%	91.5%	92.80%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	麻しん対策推進会議の開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	2 (2)	2 (2)	2 (2)	— (2)
単位当たりコスト	1,691,500 (円/回)		算出根拠	予算額を麻しん対策推進会議の開催回数で除して算出。				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	社会保障関係情報化業務庁費	3	3					
	計	3	3					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	事業の実施に必要な最低限の経費しか計上していないため単位あたりコストの削減は困難であるが、引き続き消耗品等の抑制による節減を実施。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶を推進する事業であり、真に必要な費目を対象経費としている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	感染症の発生・まん延を防止するため、麻しんの根絶推進のための対策であり、計画当初に比べ麻しん患者数を大幅減(平成20年度:約1万人→平成23年度:約4百人)させるなど、他の手段に比べて実効性の高い手段となっている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	「麻しんに関する特定感染症予防指針」(厚生労働省告示442号)に基づき目標を立て、着実に達成度は向上している。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	当初見込みどおりの活動実績となっている。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		※類似事業名とその所管部局・府省名	
-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	<p>本事業は、「麻しんに関する特定感染症予防指針」(厚生労働省告示442号)に基づく麻しん排除を達成するため、これまでも見込みどおりに実施されている。</p> <p>引き続き、麻しん排除を達成するために予算額の確保が必要である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	麻しん排除対策推進事業については、我が国の麻しん対策の推進に必要な施策であり、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	-		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0147	平成23年行政事業レビュー	0118

厚生労働省 3百万円

〔麻しん発症地域における麻しんの発生経路等の調査・分析を行うとともに、その結果を広く周知することにより麻しん排除を達成する。〕



A 国立感染症研究所
3百万円
内訳

麻しん対策技術支援チーム経費 3百万円

〔麻しん対策技術支援チーム経費〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. 国立感染症研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金等	麻しん対策技術支援チーム経費	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)